

神奈川県後期高齢者医療広域連合監査委員告示第1号

財務監査の結果について

令和5年1月26日

神奈川県後期高齢者医療広域連合

監査委員 松井 宣之

監査委員 磯部 圭太

神奈川県後期高齢者医療広域連合監査基準第2条第1項第1号の規定に基づく検査を執行した結果は次のとおりです。

- 1 監査の期間  
令和4年10月4日から令和5年1月26日
- 2 監査の対象  
令和3年10月1日から令和4年9月30日までに執行された令和3年度  
下半期及び令和4年度上半期分の財務に関する事務
- 3 監査の結果  
別紙のとおり

# 令和4年度神奈川県後期高齢者医療広域連合 財務監査結果報告書

## 1 監査対象

令和3年10月1日から令和4年9月30日までに執行された令和3年度下半期及び令和4年度上半期分の財務に関する事務

## 2 監査実施期間

令和4年10月4日から令和5年1月26日まで

## 3 監査方法

事前に各所管に対し関係資料の提出を求め、関係諸帳簿の照合等を行うとともに、担当者への事情聴取等を実施した。

## 4 監査結果

監査対象となった財務に関する事務の執行について、契約及び収入・支出は予算どおり、かつ、適法・適切になされているか、現金、預金、借入金及び財産の管理状況は適正かに主眼を置き、検査、照合等を実施した。その結果、不当な予算の執行は認められず、概ね目的に従って適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

一方、財務事務の一部で改善や検討を要する事項があり、速やかに適切な措置を講じるよう求める。

また、措置を求める事項ではないものの、確認不足や不知に起因する、軽微な指摘事項となる案件が散見された。今後同様の誤りが繰り返されることのないよう、組織的に対策を講じられたい。

### (1) 措置を求める事項

#### ア 過年度債権の回収率向上に向けた対応について

昨年度の財務監査において、令和4年1月から電話対応を行うとの回答だったが、検討を進めてはいるものの未だ具体的な対応がなされていない状況にある。

今後、被保険者数の増加や令和4年10月から負担割合2割区分が導入されたことから債権の増加が予想される。そのため、適正な債権管理に向け、より効果的な対策を実施し、回収率向上に努められたい。

イ 補助金における申請書類の不備について

昨年度の財務監査において、申請書類の不備について適切な事務執行に努めるよう求めたところであるが、今回も一部の補助金において同様の状況が見受けられた。

適正な手続きとなるよう、体制や実施方法等を検討し、改められたい。